JPX
東証上場
証券コード:3435

株主通信

第58期 第2四半期のご報告

2021年4月1日～2021年9月30日

NEW

アンカー打込機2種を発売。
狭い空間に最適なL型ヘッドの
SD-2036LH-CL(左)、
プッシュナット不要でセットが容易な
SDM-CL(右)

サンコーテクノの製品は、
皆様の身近な「安全」を
支えています。

サンコーテクノ株式会社

PHILOSOPHY

経営理念

奉仕は、真価の追求なり
啓発は、未来の追求なり
協調は、繁栄の追求なり

社是

創り、活かし、満たす
人のお役に立つために、創造提案型企業をめざす

社訓

感性と実践力を磨き、
健康で豊かな環境づくりに貢献します

心の経営とは

私たちの会社が、最も大切にしていること、
それは「心の経営」です。
心の経営とは、「理想は高く 頭は低く 実践は足下から」を
基本姿勢とし、その実践を「挨拶と清掃」に求めています。
こうした日々の実践を通して
活気あふれる職場づくりを目指しております。

「一般社団法人倫理研究所」の
ライセンス認定企業
プログラム『倫理17000』の
第1号に認定

サンコーテクノグループ

S.T.G VISION2023

私たちは
独自の技術とサービスに磨きをかけ、
安全・安心の価値を追究して、
社会に役立つ集団となります

SDGsへの取組み

当社グループは、SDGs（持続可能な開発目標）についても、
さまざまなステークホルダーと共に、達成に貢献していきます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

主な取組み

1.企業見学・職場体験学習・インターンシップの受入れ

2.地域行事への協力

3.環境負荷の低減

4.女性活躍の推進

5.働きやすく、働きがいのある職場環境づくり

6.従業員の安心と安全を追求

7.メーカーとしての責任と役割

8.独自の締結技術を追究

FLAGSHIP

「あと施工アンカー」とは?

木材等に物を固定したり、留め付ける際に釘を使用するように、コンクリート等に物を固定する際には「あと施工アンカー」が使用されています。
当社は「あと施工アンカー」市場においてトップシェアを維持しております。

釘

あと施工アンカー

「あと施工アンカー」は、街の安全と安心をサポートしております

自動販売機の固定に

フェンスの取付けに

ジェットファンの取付けに

室外機の取付けに

ご挨拶

新型コロナウイルス感染症に罹患された皆様に謹んでお見舞い申し上げますとともに、罹患された皆様の早期回復と、感染の早期終息を心よりお祈り申し上げます。

代表取締役社長
洞下英人

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
ここに、当社の2022年3月期第2四半期(2021年4月1日～2021年9月30日)の業績と今後の取組みについてご説明する株主通信をお届けいたします。本誌を通じて、当社へのご理解を深めていただければ幸いに存じます。

「社会に役立つこと」による持続的成長に向けて、「全員営業」と人財育成の取組みに注力します。

2022年3月期第2四半期連結業績と通期業績・配当見通しにつきまして

当社グループの2022年3月期第2四半期は、ファスニング事業ではインフラ・土木関連需要が地方圏を中心に引き続き堅調に推移し、機能材事業では主要製品の多くの販売が伸長したものの、新型コロナウイルス感染症の長期化による建築設備工事の低迷が続いたことなどから、売上高は8,482百万円（前年同期比0.7%減）となりました。一方、営業利益につきましては、土木分野の拡大により製品ポートフォリオが改善し、原材料費の上昇を受けた価格転嫁も進捗したほか、「ウィズコロナ」時代に即したリモート営業やオンライン会議の増加による業務効率化も寄与したことなどから、同13.2%増の750百万円となりました。

2022年3月期通期の業績見通しは、期初発表通り、売上高は前連結会計年度比2.3%増の18,350百万円、営業利益は同3.0%増の1,520百万円を予想しております。また、2022年3月期の1株当たりの期末配当金は、前期比2円増配の28円とさせていただく見通しです。当社グループは引き続き、将来の事業展開・経営体質の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、安定配当を継続していくことを基本方針としてまいります。

事業環境認識

足元では都市圏における建築設備工事の低迷が続いているものの、耐震補強工事需要の高まり等を背景に底打ちの兆しが見え始めているほか、地方圏の堅調なインフラ・土木関連需要も継続する見通しです。また、海外市場においても、アメリカ、欧州を中心に需要の底打ちが見られ始めております。
一方、鋼材をはじめとする各種原材料費は現在も想定以上のスピードで高騰しているほか、半導体不足等をはじめとする世界のサプライチェーンの混乱は当社事業領域にも影響し始めていることから、当社グループは、今後も効率化やコスト削減に注力し、原材料費の適切な価格転嫁も検討するとともに、常に十分な在庫を確保し続けることで、あと施工アンカーのトップメーカーとしての供給責任と社会的使命を果たしてまいります。
加えて、2022年3月期よりスタートした新・中期経営計画（3カ年）の初年度の重点施策である「業績の速やかな回復」は、道半ばながらも着実に進捗していることから、「社会構造変化への適応」や「コト」づくり・「コト」売りの深掘りも加速することで、2年目以降の「既存事業の進化」と「新領域への挑戦」につなげてまいります。

吹けば顔が写るアルコール検知器：ALC Face ST-2000
― 4つのソリューションによる「コト」売りを拡大中 ―

都営地下鉄でも採用

ソリューション① らくらく設置
初期設定不要・コンセントを入れるだけ

ソリューション② 簡単操作
ボタンを押して息を吹き込むだけ

ソリューション③ 顔写真自動撮影
顔写真+測定結果を自動プリントアウト

ソリューション④ メンテナンスも簡単
センサーモジュールを交換するのみ

具体的施策

現場の最前線で「社会構造変化への適応」や「需要変化への対応」に注力する各営業拠点においては、ファスニング／機能材の両事業本部と連携したきめ細かなソリューション営業が「全員営業」として定着し始めており、当第2四半期においても、人財のモチベーションを喚起しながら販売拡大につなげることができました。今後は、各拠点の規模・エリア特性に応じた独自戦略としてターゲット顧客や定量目標を明確に定め、マーケティングを精緻化することで、両事業の継続的な成長につなげてまいります。
収益の柱であるファスニング事業においては、インフラ・土

木分野で「少量多品種」の需要が高まっていることから、中期経営計画の重点施策である「DX戦略」の一環として基幹システムを刷新し、デマンドチェーンの最適化に貢献する新システムの導入を進めております。生産面では、各種金属部品の切削・研磨加工事業を展開する日本メカニック（株）の株式を本年8月に取得し、同社の強みである「少量多品種」対応力を活かし、インフラ・土木向け製品を短納期で供給する仕組みづくりに注力しております。
第2の収益の柱として強化中である機能材事業においては、当第2四半期は前年同期の包装・物流機器売上の大幅増の反動等から減収となりましたが、老朽化した歩道橋等の補修用材料として用いられるFRPシートや、コト売りの「核」であるアルコール検知器の販売・メンテンナンス収入が「全員営業」のもとで拡大しております。今後はこうした取組みに加え、当社グループの成光産業（株）や浦和電研（株）とのシナジーも更に追求することで、収益拡大に邁進してまいります。
海外事業においては、激しい為替変動の影響を注視しつつ、製品力の更なる強化に注力することで再拡大を図ってまいります。具体的には、各国のユーザーの嗜好や利用状況を詳細に把握しながら製品仕様に反映することで、現地市場での付加価値を最大化してまいります。

「社会に役立つこと」による持続的成長に向けて

当社グループは今後も、S.T.G VISION2023に掲げた「独自の技術とサービスに磨きをかけ、安全・安心の価値を追究して、社会に役立つ集団」の実現に向けて、事業を通じた社会的課題の解決やサステナビリティへの取組みに注力してまいります。
足元ではインフラの老朽化や飲酒運転等の解決に貢献する製品を通じて「安全・安心の価値」を進化させ続けているほか、人手不足という社会的課題に対しては、引き続き現場を効率化・省力化する新製品の開発に注力してまいります。
また、世界共通の喫緊の課題である「脱炭素」への取組みにおいては、このたび、地方都市における大規模太陽光発電プロジェクトに新基礎アンカー「ディー・アーススクリュー」を採用いただきました。同製品は競合品に比べて高価格であるものの、安全性能や信頼性といった価値をご評価いただいた結果によるものです。
サステナビリティへの取組みにおいては、本社周辺での太陽光発電における売電と自社利用を継続することで環境負荷を低減しているほか、当第2四半期は、地域社会との共生の一環として、熱中症指数計（熱中アラーム）とアルコール検知器を地元市役所に寄贈しました。
これら一連の取組みの根幹である人財育成においては、「全員営業」体制による現場裁量権と自由度の高さが個々の成長につながっているため今後もこれを強化するほか、定性評価を重視する人事評価制度やコーチングについてもブラッシュアップを継続してまいります。これにより、社会構造の変化に合わせた戦略をスピーディに繰り出すとともに、DXやAIのみでは対応しにくい未知の世界での思考力や判断力を養い、個々の成長を会社の成長として結実させる仕組みを長期視点で構築してまいります。
株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援・ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

HIGHLIGHTS 連結財務ハイライト

当第2四半期は、コロナ禍の長期化による設備投資抑制に加え資材価格の上昇等があったものの、インフラ整備等の一定水準の需要に支えられました。こうしたなか、当社グループは「Vision2023」のもと、「人財育成」「全体最適化」をはじめとした経営課題への取組みを通じて企業価値向上に努めた結果、売上高は8,482百万円（前年同期比0.7%減）、営業利益750百万円（同13.2%増）、経常利益748百万円（同12.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は521百万円（同15.8%増）となりました。

売上高

営業利益

親会社株主に帰属する四半期（当期）純利益

※2020年3月期第2四半期の利益項目は、
企業結合に係る暫定的な会計処理の確定に伴い遡及修正しています。

総資産・純資産・自己資本比率

連結キャッシュ・フロー計算書の概要

2022年3月期通期業績予想

売上高	18,350百万円
営業利益	1,520百万円
経常利益	1,520百万円
親会社株主に帰属する当期純利益	1,020百万円

OVERVIEW セグメント別概況

ファスニング事業

75.5%

各種設備工事等の需要は民間・公共ともに前年を上回る水準で推移し、全体としての需要は回復傾向が見られたことから、当社の主力製品であるあと施工アンカーの販売は堅調に推移いたしました。また、完成工事高が減少した一方、ドリル・ファスナー製品の販売が増加したことから総じて堅調な推移となりました。この結果、当セグメントの売上高は6,408百万円（前年同期比1.4%増）、セグメント利益は906百万円（同18.2%増）となりました。

●アンカー関連

- 金属系アンカー
- 接着系アンカー
- その他のアンカー類

●ドリル・電動工具関連

- 大口径・小口径ドリル
- アンカー施工ツール
- 確認試験機

●ファスナー関連

- サイディング用ファスナー
- ルーフィング用ファスナー

●工事関連

- 建設関連（耐震補強工事）
- 土木関連（一面耐震補強工事等）
- 太陽光関連

関連性の深いSDGs目標

機能材事業

24.5%

電動油圧工具関連の販売が、海外での回復もあり堅調に推移いたしました。また、電子基板関連、FRPシート関連およびアルコール検知器関連の販売が増加した一方、包装・物流機器関連の販売は減少いたしました。この結果、当セグメントの売上高は2,074百万円（前年同期比6.7%減）、セグメント利益は261百万円（同10.5%減）となりました。

●FRPシート関連

●各種測定器、電子プリント基板関連

●電動油圧工具関連

- 鉄筋カッター
- 鉄筋ベンダー等

●包装・物流機器関連

TOPICS トピックス

新製品

「アンカー打込機」2種を新発売

2021年7月、狭い空間に最適なL型ヘッドのSD-2036LH-CL、プッシュナット不要でセットが容易なSDM-CLの2種を発売しました。両機種ともに、スイッチを入れて約3秒で打込み完了。回転式ヘッドでコーナー部分や天井にも簡単に施工でき、安全・確実・快適なオールアンカー施工を実現します。

▲ SD-2036LH-CL

▲ SDM-CL

地域貢献

千葉県流山市役所に呼気アルコール検知器を寄贈

2021年9月30日、本社が所在する千葉県流山市に、当社製の呼気アルコール検知器（ST-2000）を3台寄贈しました。寄贈式では井崎市長に実際に使用していただきました。
当社は今後も、ものづくりを通して地域社会に役立つ集団を目指してまいります。

◀ 印刷結果

会社情報

日本メカニック株式会社の株式を取得

2021年8月31日付で、日本メカニック株式会社（茨城県）の株式を取得し、子会社化しました。

NICHIMECHA

■**設立**　1970年6月22日
■**事業内容**　精密パイプシャフトの設計・加工および各種金属部品の加工

展示会

「フクイ建設技術フェア2021」に3技術をオンライン出展

「フクイ建設技術フェア2021」（オンライン展示期間：2021年8月23日（月）～2022年4月29日（金））は、建設・土木分野における製品・工法および活用事例等を紹介し、それを担う人材育成を支援する目的で開催されています。当社は、3つの技術をオンライン出展しております。ぜひご覧ください。

◆**防災・減災に関する技術** に出展
サイズミックエコフィラー SE-1300V

◆**再生・保全に関する技術** に出展
メタルアンダーカットアンカー

◆**再生・保全に関する技術** に出展
円形付着強さ試験

QUESTIONNAIRE RESULTS 株主様アンケート結果のご報告

アンケート回答結果 (%は単位未満四捨五入)

Q1 今回の株主通信のご感想はいかがですか?

「とてもわかりやすかった」が2ポイント上昇した結果、「わかりやすかった」との合計が初めて9割を超えました。今後もよりわかりやすい誌面づくりに注力してまいります。

Q2 特に興味を持ったページはどこですか? (複数回答可)

Q3 今後、当社に何を期待しますか? (複数回答可)

ご回答者様の属性等

前号「株主通信」第57期事業のご報告において実施させていただきました「株主様アンケート」では、皆様からのご回答ならびに貴重なご意見をいただき、誠にありがとうございました。以下に、アンケート結果の一部をご報告いたします。

Q4 当社株式の購入理由は何ですか? (複数回答可)

「財務内容」が昨年比6ポイント、「配当性向・配当利回り」が同5ポイント上昇しました。今後も株主様のご期待に沿えるよう、健全な財務基盤の維持と安定配当に注力いたします。

Q5 当社に対する不満はありますか？（複数回答可）

Q6 当社ホームページ、IRサイトについてご感想はいかがですか？

Q7 当社のIR活動についての評価を教えてください

「満足」「まあまあ満足」が昨年比で計3ポイント減少し、「どちらでもない」「やや不満」「不満」が計3ポイント増加しました。株主様のご評価を真摯に受け止め、IR活動の向上に取り組んでまいります。

役員（2021年9月30日現在）

代表取締役社長	洞下　英人
常務取締役	洞下　正人
常務取締役	八谷　　剛
社外取締役（監査等委員）	松岡　省一
社外取締役（監査等委員）	岩城　龍夫
社外取締役（監査等委員）	佐藤　　靖

株式の状況（2021年9月30日現在）

発行可能株式総数	34,000,000 株	株主総数	3,558 名
発行済株式の総数	8,745,408 株	単元株主数	2,700 名

大株主（2021年9月30日現在）

株主名	持株数（千株）	持株比率（%）
洞下　英人	1,170	14.86
東京中小企業投資育成株式会社	720	9.15
有限会社サンワールド	680	8.63
サンコーテクノ社員持株会	301	3.83
新井　栄	208	2.64
佐藤　静男	191	2.43
株式会社みずほ銀行	178	2.26
洞下　正人	177	2.25
佐久間　菊子	158	2.01
MSIP　CLIENT　SECURITIES	152	1.93

（注）1.千株未満は切り捨てて表示しております。
2.当社は自己株式（870千株）を保有しておりますが、上記大株主から除外しております。

IR 情報はこちらをご覧ください

サンコーテクノ　検索

⇒ トップ画面 ⇒ IR 情報

INFORMATION

株主メモ

上場証券取引所	東京証券取引所市場第二部
証券コード	3435
事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	事業年度末日の翌日から3ヵ月以内
基準日	3月31日
配当基準日	3月31日、9月30日（中間配当を行う場合）
1単元の株式数	100株
株主名簿管理人特別口座の口座管理機関	みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目3番3号 みずほ信託銀行株式会社　本店証券代行部
公告の方法	電子公告により当社ホームページ（https://sanko-techno.co.jp/）に掲載いたします。ただし、事故、その他やむを得ない事由によって電子公告をする事ができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

会社概要

商号	サンコーテクノ株式会社
設立	1964年5月15日
資本金	768百万円
社員数	320名（連結601名）（2021年9月30日現在）
所在地	千葉県流山市南流山三丁目10番地16 TEL 04-7157-3535　FAX 04-7178-6661
取引銀行	みずほ銀行 三井住友銀行 りそな銀行 千葉銀行 京葉銀行
事業内容	建設資材（あと施工アンカー・ドリルビット・ファスナー等）、複合材、各種測定器の企画開発・製造・販売・施工及び輸出入
連結子会社	株式会社IKK SANKO FASTEM (THAILAND) LTD. SANKO FASTEM (VIETNAM) LTD. 三幸商事顧問股份有限公司 株式会社スイコー アイエスエム・インタナショナル株式会社 浦和電研株式会社 成光産業株式会社 成光パック株式会社 日本メカニック株式会社
非連結子会社	株式会社イーオプティマイズ
持分法適用関連会社	株式会社サンオー

証券代行お問合せ先

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合（特別口座の場合）
郵便物送付先	お取引の証券会社等になります。	〒168-8507　東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行　証券代行部
電話お問合せ先		フリーダイヤル　0120-288-324（土・日・祝日を除く 9:00～17:00）
各種手続お取扱店（住所変更、株主配当金受取り方法の変更等）		みずほ証券：本店および全国各支店、プラネットブース（みずほ銀行内の店舗）でもお取扱いたします。 みずほ信託銀行：本店および全国各支店※ ※トラストラウンジではお取扱できませんのでご了承ください。
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行およびみずほ銀行の本店および全国各支店（みずほ証券では取次のみとなります）	
ご注意	支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問合せ先・各種手続お取扱店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買取以外の株式売買はできません。 証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行っていただく必要があります。